

社会貢献活動の推進



2022年度の進捗

延べ**250**件

自治体との災害時
協力協定の締結
[2021年度：190件]

416百万円

社会貢献支出額合計
[2021年度：
605百万円]

延べ**58,767**人

社会貢献活動参加人数
[2021年度：
延べ50,576人]

69,933時間

社会貢献活動時間(※1)
[2021年度：
32,288時間]

- DENDOコミュニティサポートプログラムの推進
 - 「STEP」分野での活動の推進
 - 森林保全活動の拡大
- ※1 就業時間内の活動

〈関連ページ〉

P15 三菱自動車のマテリアリティ

P21 マテリアリティ

社会貢献活動レポート

〔WEB〕 <https://www.mitsubishi-motors.com/jp/sustainability/contribution/report/>

基本的な考え方・方針

三菱自動車のビジョン・ミッションにもとづき策定した社会貢献活動方針に則して、当社製プラグインハイブリッド車(PHEV)の特長を活用した災害時協力協定締結などの活動を推進しています。

2022年度はPHEVの災害時における有用性をより多くの方に知っていただき、日本全国延べ250の自治体と災害時協力協定締結を完了しました。今後も全国の自治体や当社グループ会社と連携し、電動車の活用によって地域の皆様の安心・安全に貢献できるよう取り組んでいきます。

社会貢献活動方針

三菱自動車は、「STEP」『地域社会(Society)』『交通安全(Traffic safety)』『環境(Environment)』『人(People)』の分野で、多様化する社会の課題に応えるため、従業員一人ひとりの持つ技術やノウハウ・製品を活用した継続的な社会貢献に取り組むことで、よりよい未来を描くことができる社会をめざします。



地域社会 - Society

地域のニーズに即した活動を通じ、地域社会の発展に貢献します。



交通安全 - Traffic safety

交通社会の安心・安全の実現に貢献します。



環境 - Environment

大切な地球環境の保全に貢献します。



人 - People

人々に寄り添い、笑顔あふれる生活の実現に貢献します。

社会貢献活動ロゴマーク

STEPの分野の活動の輪が中心から広がる様子を表現しています。



STEP to the future
by MITSUBISHI MOTORS

2022年度の社会貢献支出額・内訳(※2) (単位：百万円)

| 項目 | 金額 |
|----------------------|-----|
| 地域社会 | 85 |
| 交通安全 | 4 |
| 環境 | 69 |
| 人 | 223 |
| 被災地・新型コロナウイルス感染症対策支援 | 35 |
| 支出額合計 | 416 |

※2 寄付金のほか、現物給付・施設開放などを金額換算したものを含む



地域社会 (Society)

DENDOコミュニティサポートプログラム

災害時協力協定にともなう災害停電時の電動車派遣など、自ら発電し、その電力を取り出して使うことができる「三菱のPHEV」を活用した自治体への支援活動を行っています。

「PHEVの走るチカラと電気のチカラ」で、人々のくらしの安心・安全を支えます。

詳細は、P27およびウェブサイトをご覧ください。

[WEB](https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/phev/dcsp/) <https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/phev/dcsp/>



災害時協力協定

「災害停電時マンホールポンプ起動支援システム」における電動車活用提案

近年、風水害の多発により、停電にともなうマンホールポンプの稼働停止が増加し、社会問題となっています。三菱自動車はこの解決に向け、災害による停電時に送水が必要なマンホールポンプを起動させる電源として、電気自動車やPHEVなど、電動車の活用を目指した「災害停電時マンホールポンプ起動支援システム」の共同研究に、2021年9月に参加しました。

本研究では、共同研究者であるポンプメーカーなどとともに、脱炭素社会への貢献に向け、電動車、太陽光発電、可搬式蓄電池を組み合わせたシステムの開発を目指し、川崎市や浜松市で実証試験を行ってきました。今後はこのシステムとともに電動車両の活用を提案し、環境にやさしく、人々のくらしの安心・安全に貢献できることを目指していきます。



プラグインハイブリッド車からの給電試験の様子

交通安全 (Traffic safety)

交通安全教室「クルマの学校」を実施

当社は、交通安全について参加者と一緒に考え、一緒に学び、一緒に楽しむ、「クルマの学校」を実施しています。

2022年度は運転時の誤操作による交通事故低減を目指し、自治体や警察署と協働し、「運転適性検査」や「自動車シミュレーター体験」、セーフティサポートカー（サポカー）の踏み間違い衝突防止アシスト機能を体感する「サポカー同乗試乗」などを愛知県岡崎市、岡山県倉敷市で合計4回実施し、約70人が参加しました。



サポカー同乗試乗の様子

事業所地域における交通安全活動

事業所周辺道路において、従業員による交通安全立哨を定期的に行っています。2022年度は通勤・通学時間帯にプラカードやのぼり旗・横断幕による通行車両や人への安全の呼びかけ、登校中の児童への交通誘導を行いました。また、地域の交通安全協会や警察署が開催する交通安全啓発イベントへ参加し地域と連携した活動も実施し、各事業所合計で8回、延べ398人の従業員が活動に参加しました。



従業員による交通安全立哨の様子



子ども向け交通安全啓発

ウェブサイト「みんな知ってる?交通安全クイズ」

三菱自動車では、子ども向けの自動車産業学習用ウェブサイト「なぜ?なぜ?クルマづくり調査団」を常時開設しており、サイト内に、交通安全に関するページを設け、歩行中や自転車乗車中など、日常生活における交通ルールやマナーをクイズ形式で紹介しています。



「みんな知ってる?交通安全クイズ」

(WEB) <https://www.mitsubishi-motors.com/jp/sustainability/contribution/people/kids/anzen/>

環境 (Environment)

森林保全活動

森林保全を通じたカーボン・オフセットへの取り組みとして、2023年3月、岡崎製作所が立地する愛知県岡崎市と「森林保全活動連携協定」を締結し、同市の市有林を「岡崎アウトランダーの森」と命名し、森林保全活動を開始しました。

森林保全活動では、従業員の環境意識の醸成を図るための環境学習、間伐、植林、下草刈りなどの活動を実施します。

また、公益財団法人オイスカと協働し、山梨県早川町において取り組んでいる「バジェロの森」では、新型コロナウイ

ルス感染症拡大防止の観点から見送っていた従業員による活動を3年ぶりに再開し、苗木が育つために必要な下草刈りを実施しました。



岡崎市と「森林保全活動連携協定」 3年ぶりに実施した従業員の活動を締結

フィリピンでの環境保全活動として苗木寄付

フィリピンの自動車部品生産拠点であるエイシアン・トランスミッション・コーポレーション (ATC) では、設立45周年の2018年度から5年間で累計25,000本の苗木を植えることを目標に、緑化活動に取り組んでいます。

2022年度は学校や自治体へマホガニーの苗木合計3,600本を寄付し、累計27,009本の苗木を植えました。



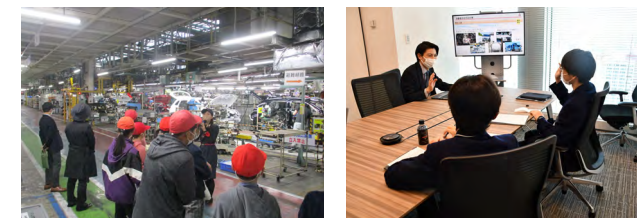
マホガニーの植林を実施

人 (People)

小中高生への教育支援

次世代を担う子どもたちへの教育支援として、小学生を対象に生産現場を体感できる工場見学の受け入れや、従業員が小学校を訪問して授業をする体験授業プログラム、中高生が将来について考え、視野を広げるためのキャリア教育学習を実施しています。

2022年度は約30,400人の小中高生が参加しました。



小学生の工場見学

中学生の企業訪問

専門学校や美術大学と産学共同プロジェクトを実施

当社はカーデザインを希望する学生の育成支援として、2022年4月より多摩美術大学生産デザイン学科と産学共同プロジェクト (授業)、9月より専門学校HALカーデザイン学科への授業参画を実施しました。多摩美術大学とのプロジェクトでは、当社デザイナーがオンラインと現地での指導を併行し、学生たちは当社に向けて「2035年の新社会人に届けたいワクワク三菱エンターカー」をテーマに新しいライフスタイル・モビリティの企画・提案をしました。



デザイナーが現地で指導している様子



マレーシアで先住少数民族の共同生活スペースに太陽光発電システムを寄贈

2022年7月、マレーシアの総販売代理店であるエムエムシー・マニュファクチャリング・マレーシア・スタンディリアン・ブルハド (MMM) は、ルマ・アダットと呼ばれる先住少数民族オラン・アスリの電気が通っていない家や共同生活スペースに、同民族を支援する非政府組織 (NGO) Global Peace Foundationを通じて、太陽光発電システムを寄贈しました。



太陽光発電システムを設置した先住少数民族オラン・アスリの家・共同生活スペース

アジアにおける教育支援

タイ、インドネシア、ベトナム、マレーシアにおいて、経済的な理由で学ぶことが困難な中高生や大学生への奨学金寄付や孤児院などへの学習ツールの寄贈を行うほか、自動車業界における質の高い人材育成を支援するため、教材車両の寄贈やインターンシップの受け入れなどを実施しています。また、イベント開催による教育機会の提供など、国や地域の社会課題に合わせた支援を行っています。

インドネシアでデジタルリテラシー教育をテーマとしたイベントを開催

2022年12月、インドネシアの販売会社であるミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・セールス・インドネシア (MMKSI) は、子どもたちが急速に発展するデジタル社会の中で情報を適切に理解し活用できるよう、塗り絵大会やデジタル作品の制作・編集、ソーシャルメディアへのコンテンツ投稿のトレーニングアクティビティ・ワークショップなどを通して、デジタルリテラシーについて楽しく学べるイベントを開催しました。



子どもたちがデジタルリテラシーを学ぶ様子

ベトナム農村部の小学校に浄水器を寄贈

2022年3月、ベトナムの現地生産・販売会社であるミツビシ・モーターズ・ベトナム・カンパニー・リミテッド (MMV) は現地ディーラーおよびベトナム赤十字社と協力し、安全で清潔な水が利用できない農村部に位置するニントゥアン省とクアンナム省の小学校に浄水器を寄贈しました。

児童は簡単にきれいな水の利用が可能となり、小学校の衛生の向上が期待されます。



「三菱自動車STEP募金」および「マッチングギフト」の実施

2009年4月に導入した「三菱自動車STEP募金」は、当社グループ会社の従業員が自らの意志で毎月、定額を募金し、継続的に社会貢献活動に参加する仕組みです。この募金は、当社の社会貢献活動方針にもとづき、開発途上国や東日本大震災被災地における活動などを支援しています。また、従業員の社会貢献意欲を大切にするとともに、より多くの支援につなげるため、「三菱自動車STEP募金」が行った寄付に対し、会社が同額を寄付する「マッチングギフト」を実施しています。



なお、募金およびマッチングギフトの支援先は、三菱自動車の社会貢献活動方針の重点分野との合致、事業の継続性、定期的な活動報告、実績などを参考に選定しています。また、当社従業員向けに支援先による報告会を開催するなど、支援先とコミュニケーションを図りながら活動につなげています。

当社および「三菱自動車STEP募金」は、これらの支援を通じ、地域のニーズに即した活動を継続し、地域社会の発展へ寄与すること目指しています。

支援先

- 国際NGOワールド・ビジョン・ジャパン
- 公益財団法人みちのく未来基金
- 公益財団法人オイスカ
- 事業所近隣の幼稚園、保育園、小学校など



「森の積み木」プロジェクトを実施

子どもたちに木の温もりを感じながら、創造性を働かせて遊んでもらうことを目的に、三菱自動車が森林保全活動を行う山梨県早川町を中心とした地域のヒノキの間伐材で作った積み木を当社事業所近隣の幼稚園、保育園などに寄贈しています。

また、従業員が緑のある幼稚園などへ積み木を贈る「従業員プレゼンター制度」を実施しています。

2022年度は60カ所に寄贈し、2010年からの累計は525カ所となりました。



ヒノキの間伐材で作った積み木

被災地支援

自然災害などの緊急事態に際し、義援金の拠出、車両の無償貸与や従業員によるボランティアなど、さまざまな支援を行っています。

オーストラリアでの大雨による洪水被災地支援として、多数の車両を提供

オーストラリアの販売会社であるミツビシ・モーターズ・オーストラリア・リミテッド (MMAL) は、洪水被害を受けた東部クィーンズランド州および南東部ニューサウスウェールズ州に対する緊急支援活動のサポートとして、オーストラリアの災害支援団体であるDisaster Relief Australia (DRA) へ、ピックアップトラック『トライトン』やスポーツユーティリティビークル『パジェロスポーツ』『エクリプスクロス』を合計約30台提供しま



オーストラリアの災害支援団体 DRAへ提供した『トライトン』

した。これらの車両は、瓦礫などの運搬をはじめさまざまな被災地支援活動に活用されました。

マレーシアでの東モンスーンに備え、車両3台を寄贈

マレーシアの総販売代理店であるエムエムシー・マニュファクチャリング・マレーシア・スンディリアン・ブルハド (MMM) は、60年以上にわたって災害対応に携わっている非政府組織 (NGO) MALAYSIA RED CRESCENT SOCIETY (MRCS) にピックアップトラック『トライトン』3台を寄贈しました。『トライトン』は、洪水が発生した際に、被災地で支援を必要とする人たちに食糧や医療品を届けるなど、人道的支援に活用されます。



寄贈した『トライトン』

「災害時の支援」の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。
(WEB) <https://www.mitsubishi-motors.com/jp/sustainability/contribution/society/relief/>

2022年度の主な支援

| 実施時期 | 支援内容 | 支援先 | |
|------------|--|--|---|
| 2023年2月～4月 | ニュージーランド ホークスベイのサイクロン被害 | 『トライトン』6台を貸与 | Taskforce KiWi |
| 2023年2月 | トルコ・シリア地震 | 救援金500万円寄付 | 日本赤十字社 |
| 2023年1月～3月 | オーストラリア ニューサウスウェールズ州山火事 | 『トライトン』などさまざまな車両提供 | オーストラリア災害支援団体 Disaster Relief Australia |
| 2022年11月 | インドネシア ジャワ島地震 | ・義援金5億7500万インドネシアルピアを寄付 ・2億インドネシアルピアを寄付 | インドネシア赤十字社 |
| 2022年以降 | オーストラリア ニューサウスウェールズ州およびクィーンズランド州各地での度重なる洪水 | 『トライトン』『パジェロスポーツ』『エクリプスクロス』など合計約30台の車両提供 | オーストラリア災害支援団体 Disaster Relief Australia |